

日本語研究に役立つ情報資源の 効果的な使い方

国立国会図書館

海外日本研究関係者向けウェビナー「日本研究のための情報源活用法」

北海学園大学 岡田一祐

はじめに

はじめに

- この講義は日本語研究になじみのない方も含め、日本語をオンライン上の情報を活用しながら検討していくガイダンスを行うものです
- 断りのないかぎり2022年12月11日時点での最新の情報に基づいています
 - 提供元の都合等でアドレスやサービス内容の変更、あるいはサービスの停止などがあり得ますのでご了承ください

はじめに

- 本講義では、近代のテキストを中心に、歴史的な日本語について検討します
- それ以外の時代や諸方言、とくにTwitterなどのSNSやブログなどの現代のテキストについては、時間の都合上扱えませんがご了承ください
- 日本語史研究にも有用な資料は、以下の拙著や、そのもととなったメールマガジン『人文情報学月報』での連載で紹介しています。ぜひご覧下さい。
- 岡田『ネット文化資源の読み方・作り方』（文学通信、2019年）
- 人文情報学月報 / Digital Humanities Monthly <https://www.dhii.jp/DHM/>

はじめに

- また、無償のデータ源を極力活用しますので、有償データベースなどを通じた辞書などの利用についてはNCC等で得られる資料をご参照ください
- Home - Japanese Digital Resources - LibGuides at North American Coordinating Council on Japanese Library Resources <https://guides.nccjapan.org/jpn-db-directory>

日本語 (史) 研究はなにをすすめるか

日本語（史）研究はなにをするか

- ことばは個人個人で異なるが、同質性も持っている
 - そのような同質な言語を指して**言語**という単位と呼ぶ
- 言語は、同質性（意思疎通性）や親族性などにより**方言**や**語族**などの単位を設けることができる
 - 関西方言と東京方言は異質な言語であるが、祖先が共通する親族語であって、かつ意思疎通性も十分にあり、日本語のそれぞれ方言と呼ぶ（呼ばなくてもいい）など
 - 琉球諸島の言語を日本語の方言というか（琉球方言）、日本語と意思疎通性のない親族語と見なすか（琉球語）には議論がある（し、言語学的な問題ではない）

日本語（史）研究はなにをするか

- 歴史的にもことばは変遷する
 - 万葉・源氏物語のころの日本語から現在の関西方言までの変化はどうなっているのか？
- 資料をもとに、さまざまな時代や地域における言語状況を把握し、変化の過程を想定する
 - 30年前の言語はいまとさして変わらない（しかし30年前には「スマホ」もなければ、「やばみ」もない）
 - 100年前は？ 400年前は？ 資料がなければ分からない？

日本語（史）研究はなにをするか

- ことばは変遷するといっても、遺伝子のように突然変異はしない……
- 資料がなければある時期の状況は分からないが、変化には法則があるので推定することは可能
- 比較と内的再建：cf. 琉球のことばや奈良時代のことばなどを比較すると、それ以前のことばも推測することができる
 - 月 上代奈良 ツキ乙~ツク tukwi~tuku- 与那国 tʰi:
 - 木 上代奈良 キ乙~コ kwi~ko- 与那国 kʰi:
 - →月と木のキの音は、元来違っていた可能性

日本語（史）研究はなにをするか

- このようなことをあきらかにできるのは、さまざまな子孫言語のさまざまな時代の言語資料が利用可能だから
- 一番古いところだけあってもなぜ与那国語で現在月がチーになり、木がキーになるのか分からない
- →どの時代のどの言語が優先されるべきとは言えない

日本語（史）研究はなにをするか

- 資料は成立にかんするそれぞれの事情があるため、とくに語彙や文体などにおいては、歴史を描き出せるとはかぎらない
- 江戸時代の古文書は候文で書かれている→∴江戸時代の人たちが候文で会話をしていた ……わけではないなど
- 言語変化に重点を置くと、話しことばを記録する資料が重要だが、言語使用史を捉えるには、文章語の研究も十分されねばならない
- 資料固有の研究も、資料をもとに歴史を想定する研究もどちらも取り組まなければならない

日本語史研究で用いる資料

日本語史研究で用いる資料

- あらゆる言語資料を資料とすることができる
 - 年代や書き手の素性が分かっているものがもっとも至便（時代・身分・方言・文体なども考慮に入れる必要があるため）
 - 比較考量のうえ使用するので、すべてが分かっていなければ使えないわけではない
 - 伝来のうちに混ざってしまうこともある→枕草子諸本など
 - 話しことばを反映しているものの検討が優先されてきたが、文章語の研究もされるようになってきている

日本語史研究で用いる資料

- 辞書等

- とくに当時編纂された、意味や音を記載した辞書

- 『日本国語大辞典』（第2版、小学館、2000–2002）にかなり集成されている（重要でも、含まれないものも多いが）

- ふるい辞書は古典的資料を読むためのものが多いので注意

- 豊島正之氏（上智大学）日本近代辞書・字書集 <https://joao-roiz.jp/JPDICT/>

- 明治学院大学図書館 - 和英語林集成デジタルアーカイブス <https://mgda.meijigakuin.ac.jp/waei>

日本語史研究で用いる資料

- 事典

- 『日本語学大辞典』（東京堂、2018。丸善eLibraryで利用可）、『日本語大事典』（朝倉書店、2014）、『日本語学研究辞典』（明治書院、2007）など

- 概説書

- 大木一夫（編）『ガイドブック日本語史調査法』（ひつじ書房、2019）など

オンライン上で（無償）利用可能な
日本語史資料

オンライン上で利用可能な日本語史資料

- 自分で読めればいいもの から 研究に即使えるもの まで多様である
 - 「新日本古典籍総合データベース」 <https://kotenseki.nijl.ac.jp/> などにはさまざまな古典籍（書籍）画像が掲載されており、活用することができる
 - 文書・日記等、歴史学の資料であれば東大史料編纂所SHIPS <https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/> などがある
- 読むためのツールとして、CODHの古典籍解読アプリ「みを」なども活用できる。古文書であれば奈良文化財研究所のMOJIZOで単字単位で解読支援を受けられる
- 凸版印刷も有償で提供している（アプリが2022/3公開とのこと）

オンライン上で利用可能な日本語史資料

- 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/> では、近代以降の図書資料を豊富に利用可能（古典籍資料もある）
 - 雑誌などは図書館・個人送信などで見る必要があるものがほとんど。海外での利用には現状制約多し
- ジャパンサーチ <https://jpsearch.go.jp/> は公的なものを中心に連携データベース間の横断検索が可能で情報収集でも有用
 - Google BooksやInternet Archive、Europeanaなどでも資料を発見できる
- 各社新聞データベース
 - 読売・朝日・毎日が近代までデータベース化しているが、歴史研究には読売が便利

オンライン上で利用可能な日本語史資料

- 論文（あるいはリポジトリ掲載電子書籍）の形式になっているものはCiNii Researchから検索
 - タイトルに「影印」や「翻刻」あるいは「注（釈）」とあるもの
 - 影印は画像、翻刻はテキスト化したもの
 - 書籍の場合、異称を日本古典籍総合目録データベースで確認しておくとうい
 - 国文学研究資料館 日本古典籍総合目録データベース <https://base1.nijl.ac.jp/~tkoten/>

NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- 国立国会図書館次世代システム開発研究室の開発する実験的サービス群
 - 国立国会図書館デジタルコレクションに資するためのものであるという実験的性情格から、そちらに移行したり、廃止されたりすることは当然ありうる
 - サービスそのものがなくならなければ、データやソフトウェアの根本はおおきく変わらないと思われるので、ここで活用方法をご紹介します
- サービスそのものについては下記も参照
 - 第24回図書館総合展 国立国会図書館主催フォーラム「#NDL全文使ってみた～「次世代デジタルライブラリー」 & 「NDL Ngram Viewer」 | NDLラボ
<https://lab.ndl.go.jp/event/lff2022/>

NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- NDLラボに置かれるものはさまざまあるが、ここでは日本語史研究に活用できる「全文検索」および「NDL Ngram Viewer」のふたつを紹介する
- 2021年度OCRテキスト化事業の成果
- 関連する成果として、NDLOCRアプリケーションは、一般利用可で、手持ちの近代資料のOCRに活用できる
- NDL古典籍OCRもまもなく公開予定とのこと
- データやソフトウェアの一部がGitHub上で公開されている
- ndl-lab・GitHub <https://github.com/ndl-lab>

NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- 全文検索
 - 次世代デジタルライブラリーの機能で、画像検索と対になっている
 - 古典籍～著作権満了確認済み図書資料の全文検索（年代・分類検索あり）
 - 現状、JIS外字の多くは■で表現されるので注意・変体仮名にも弱い
- NDL Ngram Viewer
 - 次世代デジタルライブラリーの本文の一部に特別な処理をして、出版年代ごとに出現頻度を列挙・可視化できるようにしたもの

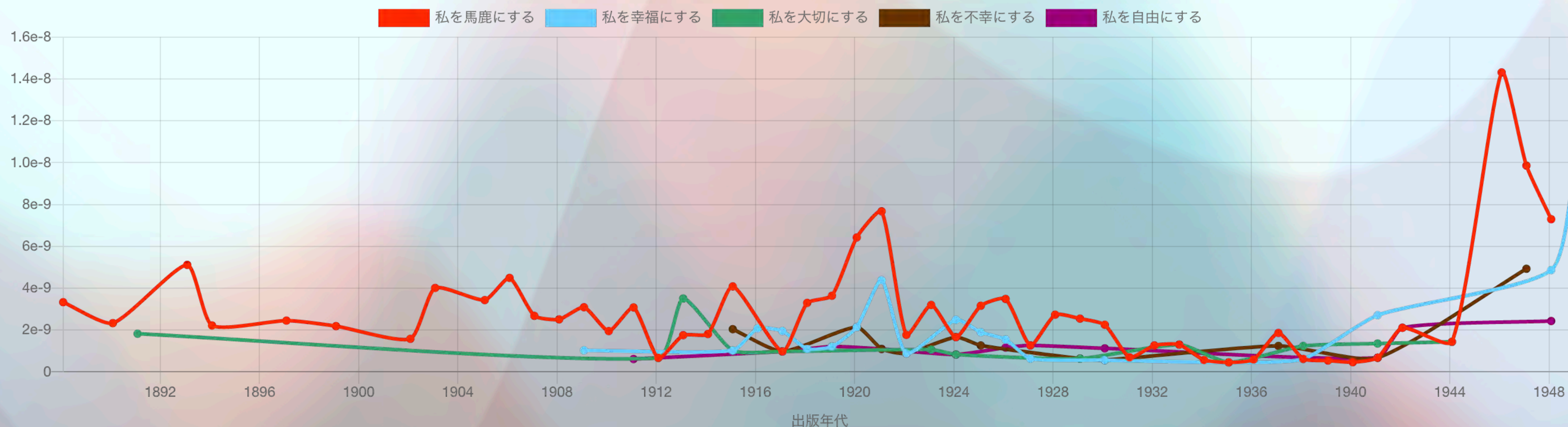
NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- 今後について
 - 2022年12月21日から、国立国会図書館デジタルコレクションがリニューアルし、テキスト化済み247万点が検索可能に
 - NDL Ngram Viewerは、2023年1月に対象範囲がテキスト化済み全資料に拡大する予定

NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- Ngram Viewerは正規表現や複数クエリで複数の頻度を見ることができる
- 以下は「私を.{2,3}にする」の検索結果上位5件の可視化

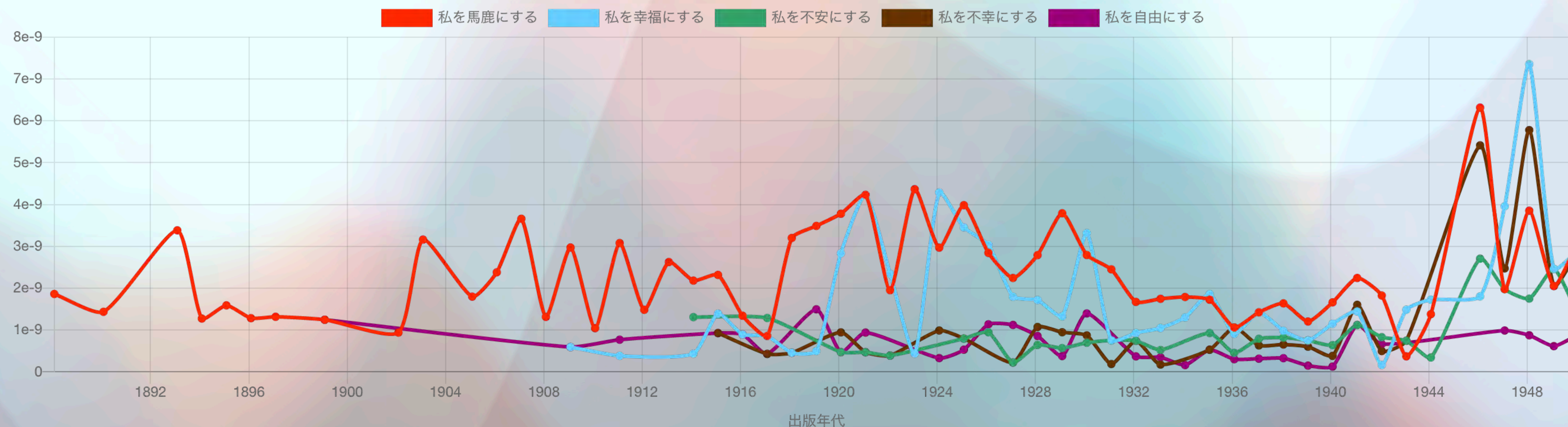
出現頻度上位の分布



NDLラボ・次世代デジタルライブラリー

- 以下は新版における「私を.{2,3}にする」の検索結果上位5件の可視化
- ヒット件数も16から40に

出現頻度上位の分布



オンライン上で利用可能な日本語史史料

- 注釈のそなわったテキスト
 - 論文の形式になったものの以外は、ほとんど書籍のかたちでしか利用できない
 - 例外的に、『新編日本古典文学全集』（小学館）は、ネットアドバンスの有償ナレッジベースJapan Knowledgeで利用可能
 - ジャパンナレッジ <https://japanknowledge.com/>

オンライン上で利用可能な日本語史史料

- 言語学的分析のされたテキスト
 - 言語学的情報の付与されたテキストのデータベースを**コーパス**という
 - 日本語についてのコーパスはつぎに紹介する国立国語研究所の提供するものがあるほか、NIIをとおして提供されているデータセットや、言語資源協会が有償で提供するものがある（日本語史関係のものはない）
- 情報学研究データリポジトリ データセット一覧 <https://www.nii.ac.jp/dsc/idr/datalist.html>
- GSK | 特定非営利活動法人 言語資源協会 <https://www.gsk.or.jp/>

国立国語研究所日本語コーパス群

- 国立国語研究所の公開する日本語コーパス群
 - 言語資源開発センター <https://clrd.ninjal.ac.jp/index.html>
- 現代語から古典語まで、書きことばから話しことばまで、共通語から方言まで
 - 極力同等の単位で検索できるよう、こまかな工夫がされている
 - 自動で言語学的分析（日本語自然言語処理では形態素分析といわれる）処理を行った箇所と、それを専門家が修正した箇所とがある

国立国語研究所日本語コーパス群

- 基本的には申請して中納言という検索システムを通じて利用する
 - 公式講義・講習ビデオ <https://clrd.ninjal.ac.jp/tutorial.html>
 - 中俣尚己(2021)『「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門』ひつじ書房
 - 中俣尚己の日本語チャンネル - YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCk6pcsLUyp0Z9ZEPnVpb7TQ>

国立国語研究所日本語コーパス群

- かつて単発的に公開されたコーパスは利用申請不要なものがある（申請して利用するものと同等ではない）
 - 近代語のコーパス <https://clrd.ninjal.ac.jp/cmj/index.html>
 - 検索ソフト「ひまわり」で検索可能

語彙素読み で始まる

語彙素 で始まる

語彙素細分類 で始まる

検索

字体変換

クリア

no	前文脈	キー	後文脈	語彙素読み	語彙素	語彙素...	語種	品詞	活用型	活用形	語形	書字形...	雑誌名	年	号	ペ...	語連番	記事題名	記事著者	記事原著者	記...	引
1	に就て談論愛に及ぶ時は	は	動もすればかの歐洲諸	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	500	洋字を以て国語...	西周		文語	
2	るの多かる中に終には	は	彼の文明を羨み我が不	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	670	洋字を以て国語...	西周		文語	
3	不開化を歎じ果て果ては	は	人民の愚如何ともする	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	780	洋字を以て国語...	西周		文語	
4	からざれば外面の規模は	は	如何に盛大にもあれ表	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	1990	洋字を以て国語...	西周		文語	
5	せたる如し故に上旨は	は	下達せず下情は上伸せ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	2270	洋字を以て国語...	西周		文語	
6	に上旨は下達せず下情は	は	上伸せずして全身不遂	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1才	2320	洋字を以て国語...	西周		文語	
7	事を企てんと欲する時は	は	必先づ此一險岨の越ゆ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1ウ	4150	洋字を以て国語...	西周		文語	
8	開明の域に進ましむるは	は	素より當路諸公の任に	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	1ウ	4610	洋字を以て国語...	西周		文語	
9	薬すべからざるに至るは	は	亦獨り政府の罪たるの	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2才	5110	洋字を以て国語...	西周		文語	
10	智の徒たらんとする者は	は	先んじて之を救ふとな	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2才	5400	洋字を以て国語...	西周		文語	
11	學なり術なり文章なりは	は	皆かの愚暗を破り一大	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2才	5910	洋字を以て国語...	西周		文語	
12	の事業あらざれば恐くは	は	愚暗の堅軍を破摧する	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2才	7260	洋字を以て国語...	西周		文語	
13	此事業を襄成せば希くは	は	かの愚軍を破摧するの	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	8050	洋字を以て国語...	西周		文語	
14	るに所謂學なり術なりは	は	文章有て始めて立つべ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	8410	洋字を以て国語...	西周		文語	
15	をか術とせん文	は	貫道の器なりと古	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	8650	洋字を以て国語...	西周		文語	
16	法を異にして言ふべきは	は	書すべからず書すべ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	9000	洋字を以て国語...	西周		文語	
17	すべからず書すべきは	は	言ふべからず是亦文	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	9060	洋字を以て国語...	西周		文語	
18	じく一澤に就て飲ふ時は	は	各其腹に充てて已むの	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	2ウ	10130	洋字を以て国語...	西周		文語	
19	其不便焉より大なるは	は	なし是後條に至り請	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3才	11290	洋字を以て国語...	西周		文語	
20	を食ふ苟も食ふなきは	は	則已ん今其佳境に至	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3才	12440	洋字を以て国語...	西周		文語	
21	るを見ず故に我の新	は	彼の陳たる言を待ざる	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3ウ	14990	洋字を以て国語...	西周		文語	
22	や己を捨てて人に従ふは	は	大舜の美德義を聞て則	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3ウ	15460	洋字を以て国語...	西周		文語	
23	美德義を聞て則服するは	は	尼訓の大義事必ず己よ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3ウ	15570	洋字を以て国語...	西周		文語	
24	出でて心に快しとするは	は	大智の取らざる所今亦	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	3ウ	15720	洋字を以て国語...	西周		文語	
25	於て之に通ずれば他語は	は	唯記性を勞する耳是	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	4ウ	21010	洋字を以て国語...	西周		文語	
26	譯中學術上の語の如きは	は	今の字音を用ふるが如	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	5才	23620	洋字を以て国語...	西周		文語	
27	又器械名物等に至ては	は	強て譯字を下さず原字	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	5ウ	23830	洋字を以て国語...	西周		文語	
28	り然るに所謂筆墨肆	は	三都其他僅々の數のみ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	5ウ	25110	洋字を以て国語...	西周		文語	
29	り差別なし而て洋字	は	音語にして漢字の畫字	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6才	26800	洋字を以て国語...	西周		文語	
30	ずして所謂十利なる者は	は	利の眞利なる者なり	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6才	28650	洋字を以て国語...	西周		文語	
31	べけんや曰く其利害	は	既に判然たり唯之を	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6才	28880	洋字を以て国語...	西周		文語	
32	ざらん而て國學者流	は	徒ちに古文法を用ふる	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6ウ	29370	洋字を以て国語...	西周		文語	
33	らず實用に適する者は	は	候文にして既に言ふ所	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6ウ	29560	洋字を以て国語...	西周		文語	
34	故に國學に抗する者は	は	遂に今の俗語を直書し	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	6ウ	30130	洋字を以て国語...	西周		文語	
35	て大抵雅俗兩家の喧嘩	は	講和に就んと欲するな	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	31640	洋字を以て国語...	西周		文語	
36	山あるなれども此等	は	雅文の代言人も俗語の	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32170	洋字を以て国語...	西周		文語	
37	に高上に過ぎたる語格	は	平素は用ひず又其代り	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32380	洋字を以て国語...	西周		文語	
38	に過ぎたる語格は平素	は	用ひず又其代りには言	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32400	洋字を以て国語...	西周		文語	
39	素は用ひず又其代り	は	言語も成丈意を注して	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32470	洋字を以て国語...	西周		文語	
40	となり百年も立つ中には	は	歐洲の美にも庶幾すべ	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32810	洋字を以て国語...	西周		文語	
41	らんか前に和字にては	は	子母音相合して不便た	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	32980	洋字を以て国語...	西周		文語	
42	洋字を要すると云ひし	は	是が爲なり又第二の	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	7ウ	33120	洋字を以て国語...	西周		文語	
43	爲なり又第二の難事	は	政事上の難事なり天	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	8才	34360	洋字を以て国語...	西周		文語	
44	ざるなり第三の難事	は	費用の難なり然ども	ハ	は		和	助詞-係助詞			ハ	は	明六雑誌	1874	01	8才	34360	洋字を以て国語...	西周		文語	

国立国語研究所日本語コーパス群

- 欧米のコーパス（BNCなど）とちがって構文は検索できない
- 中納言より簡易なものとして少納言がある
 - KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」 少納言 <https://shonagon.ninjal.ac.jp/>
- レキシカルプロファイリングを検討できるシステムとしてNINJAL-LWP for BCCWJ (/TLB) がある
 - NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) <https://nlb.ninjal.ac.jp/>

ケーススタディ： 黙食と「みたいだ」

黙食

- 黙活：黙食、黙浴、黙筋トレ……
- 「黙活」いくつ知ってる？…黙食に黙筋トレ、黙乗まで増殖中：読売新聞オンライン <https://www.yomiuri.co.jp/national/20210209-OYT1T50174/>
- あたらしいことばだと言われているが、ほんとうにそうだろうか
- 「みたいだ」もあたらしい助動詞であるが、どのように変遷を捉えられるか？

どう調べるか

- 辞書の掲載状況を確認しておく
 - 当時の辞書および『日本国語大辞典』（Japan Knowledge）
- 国語研コーパスで見取り図を得る
- NDL Ngram Viewerを活用して、
 - 変遷を確認する（用例数が多いとき）
 - 先行資料に漏れたものを探す（用例数に乏しいとき）

黙食のばあい

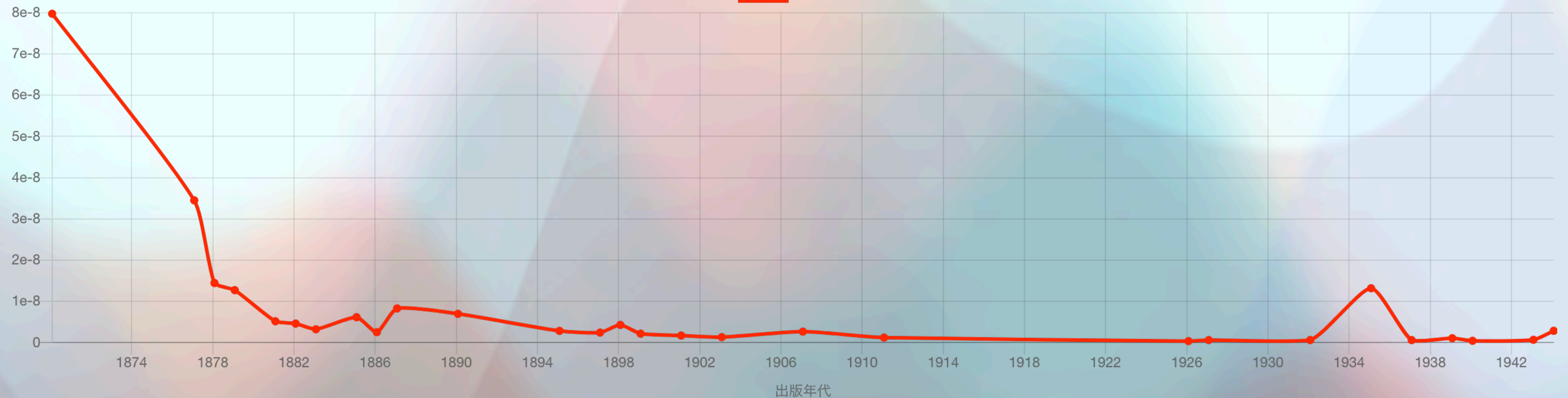
- 辞書
 - JPDICT なし / 和英語林集成 なし / 日本国語大辞典 なし
- 国語研コーパス
 - なし
- NDL Ngram Viewer

黙食のばあい

- NDL Ngram Viewer <https://lab.ndl.go.jp/ngramviewer/?keyword=%E9%BB%99%E9%A3%9F&size=100&from=0>

出現頻度上位の分布

黙食



黙食のばあい

- 目盛りは1年単位だが、10年ごとに頻度が計算されるため、10年間で出版点数が一様でないばあいに、突出して用例がある年があると、グラフがゆがむという問題がある
 - 明治以前（対象資料数の問題）、1911年（都道府県議会議事録の登録集中年）、1946年以降（対象資料数の問題）などがとくになりがち
 - 個別結果を見ることで均すことができる
- 用例の少ないものは誤OCRを十分にチェックする必要がある
 - 異常に多く感じるときは、べつのものが引っかかっていることがある
 - 例：「ご機嫌よう」の類例を調べたい→「御.{2}良」？

黙食のばあい

- 次世代デジタルライブラリーの全文検索でかならず確認
 - 大半は無関係・黙食とは切れない例
 - それでも1例がヒット
 - お花は如何にして教育すべき乎 - 次世代デジタルライブラリー <https://lab.ndl.go.jp/dl/book/808188?keyword=%E9%BB%99%E9%A3%9F&page=33>

お花は如何にして教育すべき乎

書誌 目次 本文 図表

黙食

1コマ見つかりました。

1

33コマ

かつた、若し僕が中心・C・Oだいつきつきだとなつてゐる■■な會話の題を次から次へと出き日本婦人と交際おそ()しよくミンじかんきなかつたならば悉らく洋食中の一時間はしらせ切もい言さつぶうけいきはまいえんつた**黙食**

1

初期位置に戻す

🔍 🔍 🔍 📄

日本婦人と交際人

主婦が交際に拙であることを證明する何よりの證據物ではあるまいか日本の藝妓は或意味に於て交際引受人おとりもち引請女若くは社交請負師といつたやうな格である之れを積極的に撲滅するには主婦をして交際に長ぜしむるにある!!

一日僕が二十名ばかりの社會からは紳士令夫人との尊敬を受けて居る中流以上の家庭の主人公を東京の某ホテルに招いて晚餐を共にしたその時自分食時中の一時間自ら中心となつて話題を供給するに忙しかつた斷つて置くがその中には日本で高等教育を受けた婦人方も多かつた若し僕が中心となつてゐるゝな會話の題を次から次へと出さ

なかつたならば悉らく洋食中の一時間はしらせ切つた黙食レースのやうな殺風景極まる一幕を演じたことであつたらうと思つた、こういふ場合に西洋の婦人は相手を外らさぬ非凡の交際術を心得てゐると今更ながら深く感じた。

然らば如何にして交際に達せしむべき乎は家庭及女子教育上の重大な問題であるといはねばならぬ。

僕がお花に交際術を教ふるに就て注意したことは次の社交十一ヶ條であつた。子女に交際を教へるには矢はり家庭に於て實習させて慣れしめなくては到底駄目である。

十二、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

進行方向(自動推定)

読みやすくする

この資料の全文テキストデータ

黙食のばあい

- 「黙って食べる」という点では符合するが、殺風景さを表すために用いられている
- ニュアンスもふくめてことばだとすれば、たしかにあたらしいことば？
- じっさいには、現代の学校現場で70年代ごろには用いられていることが新聞DBの検討から分かる
- 特定の場と結びついたことばを集団語というが、集団語を脱して一般語となったと言えるか

「みたよだ・みたいだ」のばあい

- 助動詞「みたいだ」は「みたようだ」から来ている（「みたようだ」>「みたよだ」>「みたいだ（形容動詞）」>「みたい・みたく（形容詞的）」）
- 浮世草子・好色一代女〔1686〕五・二「にしめ大豆山椒の皮などはさむは、色町を見たやうにおもはれてしほらしければ」（『日本国語大辞典』第2版「みた-・ようだ」）
- 吾輩は猫である〔1905～06〕〈夏目漱石〉二「羽織の紐をひねくりながら謎見た様な事をいふ」（『日本国語大辞典』第2版「みた-・ようだ」）
- 真景累ヶ淵〔1869頃〕〈三遊亭円朝〉一九「お前のやうに子供みたいにあどけなくっちゃア困るね」（『日本国語大辞典』第2版「みたいだ」）
- 杉浦滋子（2012）「「～みたいだ」文法化の過程」『言語と文明』10

「みたよだ・みたいだ」のばあい

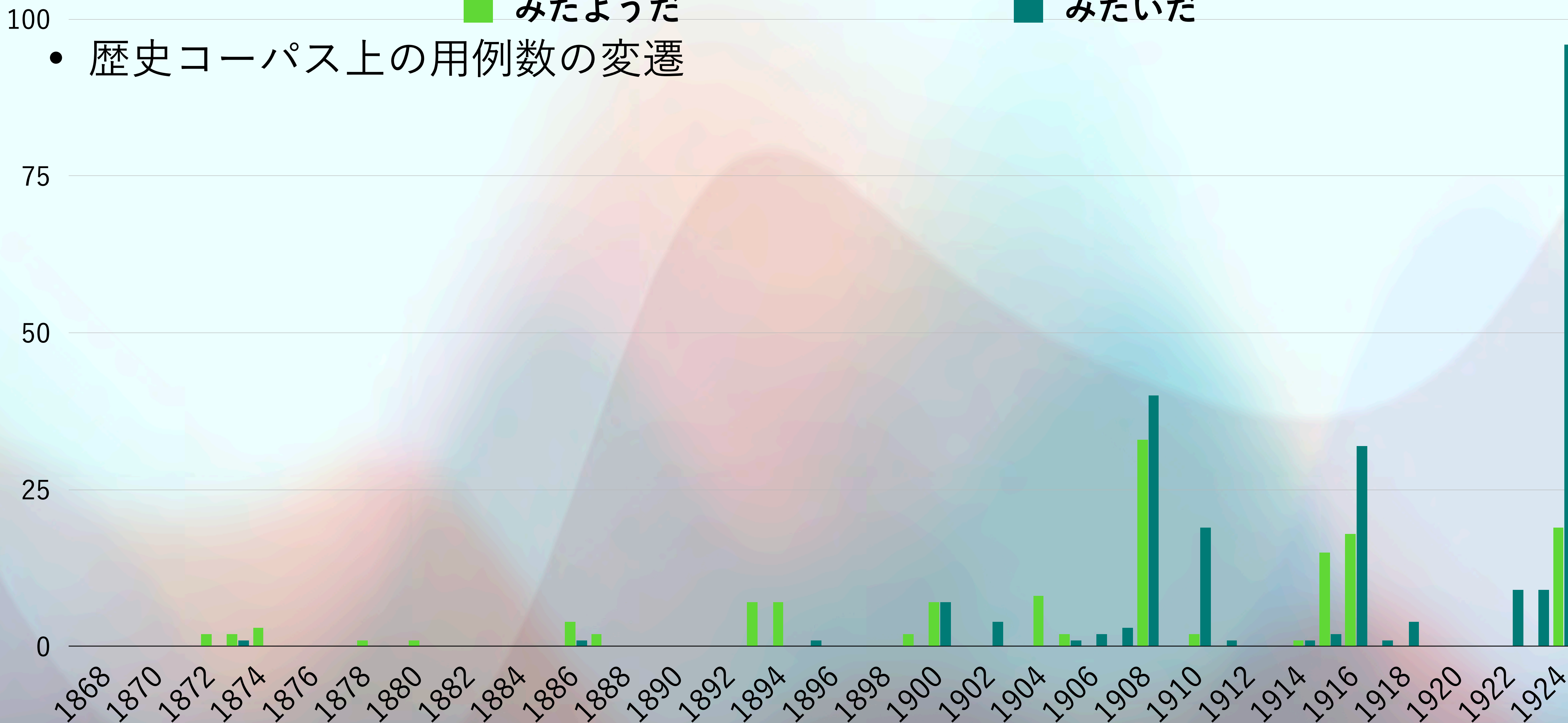
- 国語研コーパス
 - 「をみたようだ」（語彙素「を」「見る」「た」「様」「だ」）
 - 「みたようだ」（WHERE句「NOT 語彙素 = "を"」語彙素「見る」「た」「様」「だ」／語彙素「みたい」「様」「だ」）→不可分なものもある
 - 「みたよだ」（文字列検索「[見み]たよ[だなに]」なし）
 - 「みたいだ」（語彙素「みたい」「だ」）

「みたよだ・みたいだ」のばあい

■ みたようだ

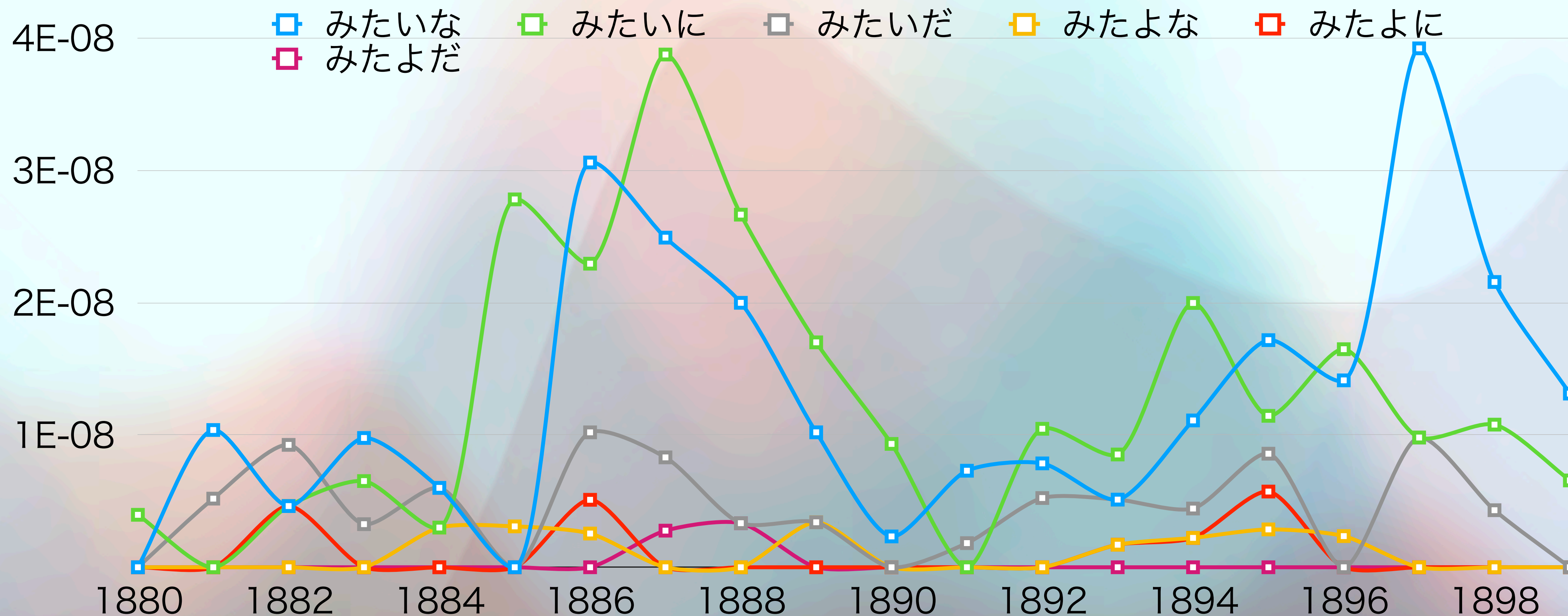
■ みたいだ

- 歴史コーパス上の用例数の変遷



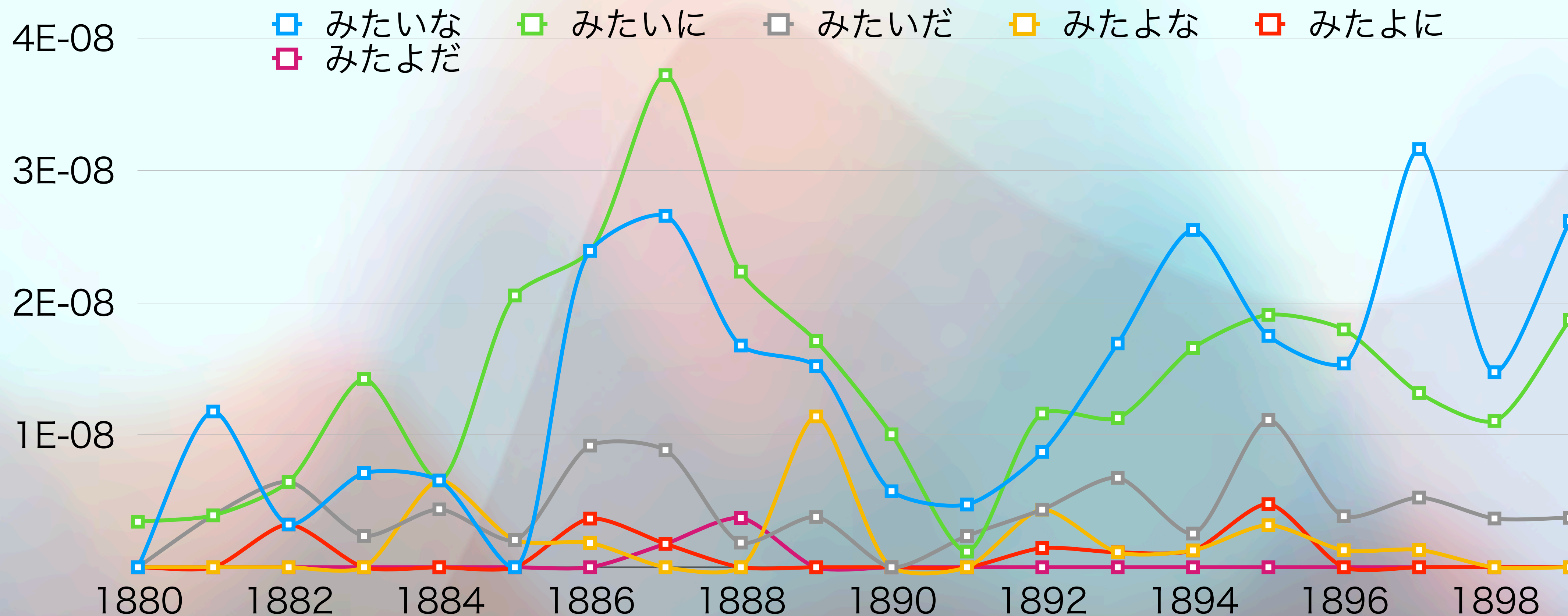
「みたよだ・みたいだ」のばあい

- NDL Ngram Viewer 「みた[よい][だにな]」 (旧版)



「みたよだ・みたいだ」のばあい

- NDL Ngram Viewer 「みた[よい][だにな]」 (新版)



「みたよだ・みたいだ」のばあい

- データが乏しくてくわしく見ることができなかった「みたよだ」も、NDL Ngram Viewerであれば一定数集めることができ、活用形の移り変わりも確認することができる
- データの増加に伴い、極端な用例の偏りも落ち着いてきていることが分かる。**数は力である**
- 「～を見たようだ」から「見たようだ」への移り変わりはデータの制約上見ることができない
- 既存の資料（コーパス・辞書）との併用はこれからも求められる

試してみよう

試してみよう

- 1. NDL Ngram Viewerで表記の揺れる語（馴れ・慣れなど）を検索してみ、その変動を観察してみましよう。うまく行かなかったばあいは、なぜそれが思うように検索できなかつたのか調べてみましよう。
- 2. 少納言を用いて、同じ言葉を調べてみましよう。自分の予想と同じだったでしょうか？
- 3. 少納言の正規表現機能を用いて動詞の活用をまたいだ検索をしてみましよう。「舌を巻く」といった、慣用句でも同様に活用をまたいで検索してみ、どのような活用形が用いられるか確認しましよう。